

分科会評価報告書（平成28年度決算）

（都市経済分科会 No.1）

(所管課, 事業コード) 事業名	(施設管理課, 3257) 駅前施設管理費 ※P631, 632		
評価	2	1 拡充 4 縮小	② 継続 5 休止 3 改善 6 廃止

【必要性】

<目的の妥当性, 行政が行う必要性>

鹿嶋市の顔として重要な施設であり, 活性化にむけた改善や改修が課題の施設である。しかし, 現状のままでも, 通勤通学の利用があることから, 必要性は十分にある。また, 駅前が公共交通結節点であることから, 行政が行う必要性は高い。

【効率性】

<効果と費用等との関係>

オリンピックを見据えた管理とすれば, 再整備が必要であり, 現状の利用としての管理であれば, きれいに管理されている。しかし, 電球をLEDにするなど, コスト縮減も検討されたい。

【有効性】

<得ようとする効果と得られている効果との関係>

通勤通学で日常的に利用している方がおり, 一定の効果は得られている。しかし, 将来のことを考えれば, 知恵を出して, 発展性を検討する必要がある。

【評価説明】

現状としては, 看板も古いことや老朽化の課題もあり, また, 利用者も少なく, 活気も感じられない。今後は, 国体, オリンピックなどもあるため, 鹿嶋市の顔として, 再整備を改めて検討していくことが必要であり, 市街地活性化基本計画や公共交通網形成計画などを関連付けて, 維持管理をする必要がある。しかしながら, 現状としては現施設の維持管理であるため, 本事業は「継続」と評価する。